



企業の知的財産戦略

-Intellectual Property and Business Strategy-

森田 真

Makoto Morita

三菱化学株式会社 知的財産部長

Mitsubishi Chemical Corporation, Intellectual Property Department, General Manager

日時: 2012年11月8日(木) 14:50-16:30

会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室

授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3722-130)

要旨

「知的財産」、「知的財産権」は企業では第四の経営資源と言われています。「知識社会」と言われる現代において、今後もその重要性は益々高まるものと思われます。しかし、ひとつの発明で基本特許を取得して、それにより事業が大成功し、ひいては産業創出につながるというような特許の古典的モデルが成り立つ事業分野は稀です。企業において、知的財産及び知的財産権は、事業の「競争戦略」の構成要素のひとつです。複雑な競争関係や状況によって、知財の相対的重要度は変化します。事業の持続的競争優位性を確保するために、企業は知財を創出、法的保護、活用する活動を実施しています。セミナーでは前述のような企業における「知的財産」の位置づけを紹介します。また、これより求められる人材像についても私見を述べたいと思います。



主催: 東京大学 グローバルCOEプログラム「機械システム・イノベーション国際拠点」(GMSI)
東京大学 実践型リーダー養成事業「イノベーションリーダー養成演習」(PCIL)

本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 教授・山口 由岐夫
GMSI事務局: E-mail: gmsi-office@mechasys.jp Phone: 03-5841-7437